

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2018年2月26日]

1月の農業情報

タイトル 輪ぎくほ場共進会で環境制御活用農家が夏冬連覇！

とき 平成29年12月7日(木)

ところ JA愛知みなみ本店及び田原市内

主体・対象 JA愛知みなみ(輪菊部会員770名)

内容

第39回田原市・JA愛知みなみ電照ぎくほ場共進会が開催され、第1席となった藤井保宏氏(42歳)は8月の夏ぎくほ場共進会に続き夏冬連覇となった。藤井氏は管内の有志でつくる輪ギク環境制御勉強会のメンバーであり、その中でもモニタリング装置や炭酸ガス発生装置を十分に活用して、高品質多収栽培を実現している。

栽培の特徴として、①開花までに必要な積算温度と予定栽培日数から、日平均気温を20℃前後に設定。②これに合致するよう、日々の天候に応じて1日の温度・湿度の動きをイメージして各種機器を調整し、最適な環境と実際の環境との差を小さくしている。③光合成の促進のために必要なかん水が十分にできるよう、毎作ごとにヤシがらを投入するなどして土づくりに力を入れている。

農業改良普及課ではこうした優良事例から栽培のポイントを明らかにして、部会全体の栽培技術の向上につなげていく。



12月共進会で第1席になったほ場